

回覧

## 元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(2丁目会館) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

## 国交省事業を推進

## 事業費 370 万、R6 年度総会開く

ゲンコミは 21 日(日)、2 丁目会館で役員総会を開き、R5 年度決算、R6 年度事業計画、同予算などを承認決定した。R5 年度末に急浮上した国土交通省の住宅団地再生に向けた調査事業(事業費約 370 万円)への参画についても提案通り了承。事業費の多くは、今年度の最大テーマである県営

## 令和 6 年度主要役員

	役職等	氏名	備考
1	会長	廣上正市	
2	副会長	山本正博	緑が丘地区長、(兼)生涯学習部会長
3	副会長	近藤 優	一色地区長
4	副会長	笥 和憲	(兼)生涯学習部会、音楽活動部会担当
5	事務局長	古矢俊雄	一色緑が丘地区社協部会副部会長
6	部会長	三浦憲門	音楽活動部会長
7	部会長	佐藤祐一	デジタル部会長
8	部会長	小笠原陶子	百合が丘地区社協部会長、(兼)健康団地CR部会長

コミュニティルーム(CR)・広場を拠点にした活性化活動に振り向ける。組織、人事では、空き家対策、こども、友情の山の 3 部会を廃止し、役員異動も小幅にとどめるなどスリムで重点志向の体制を築いた。

新任役員は近藤優氏(副会長、一色地区長)、岩間靖典氏(理事、百合1地区長)、美和悟氏(監事)、関口正美氏(監事、前副会長)。

R5 年度決算は収入、支出とも 110 万円台になり、前年度とほぼ同額の 100 万円強の繰越金を残した。このほか国交省助成による空き家対策 190 万円、やまゆり合唱団の事業 70 万円を抱えた活動を行った。主力の生涯学習講座は 20 回開催し、23 万円強の収入があったものの、講師謝礼や会場費支出などもあって町補助を織り込んだうえでもなおかつ赤字が続いている。音楽活動部会は県住宅供給公社との共催による音楽祭収入の増加が寄与した。デジタル部会はスマホ講座受講希望者のニーズを捉え切れておらず、赤字から脱し切れていない。

## (裏面に R5 年度収支決算書)

新年度は事業部会が音楽活動、生涯学習、デジタル、健康団地 CR の 4 つになるが、収入、支出とも前年度と同基調の予算を組んでいる。ただ、金額ベースでの事業規模は国交省の調査事業が上乘せされるため、500 万円台へと大きく膨らむ。

単年度事業として取り組む団地再生調査では、国交省の承認を受けた里山健康団地構想づくり、健康チャレンジパーク、健康・医療供給サービス体制の拡充、ゲンコミの法人化検討などが柱になる。計画の立案、推進はこれらの分野に詳しいコンサルファームと契約し、主要役員、健康団地 CR 部会が連携して進める。取り上げるテーマや事業の性格からして神奈川県や二宮町に支援、協力を要請していく。



竣工に向け工事が進む県営団地